

艦艇広報（仙台港）（7月14日） ～未来のシーマン候補を求めて～



模擬弾薬の説明



臨検員の装備(ボディーアーマ)体験



海自ブース前での懇談

募集課は、令和元年7月14日（日）、宮城地方協力本部が主催する艦艇広報（仙台港）に対象者26名を引率し、研修に参加しました。当日は、あいにくの天気となりましたが、松島での昼食を兼ねた史跡研修の時には小降りとなり、目的の艦艇研修のために仙台港に到着するときには、雨は上がりました。午前中の土砂降りの影響により、来訪者が少ない状況でしたが、引率の対象者26名は自由に研修できる状態となり、とても良い艦艇研修となりました。特に潜水艦が母港以外での広報活動をするのは稀で「せいりゅう」はとても人気がありました。艦長も気さくな方で、なりきり制服を着た対象者と一緒に潜水艦をバックに記念撮影に応じてくれました。対象者の皆は、大満足の様子でした。また、護衛艦「ちくま」についても、多い者は3回も乗艦し、隅々まで研修したり、色んなことを質問することが出来ました。その他にも陸自車両が展示されており、対象者は、それぞれの小グループで自由に研修し、楽しむことが出来たようでした。艦艇員に対して、普段の勤務のことや、外洋に出たときのことなど、具体的な質問をしたり、女性の勤務環境を質問したりと、仕事としての自衛隊を認識するとともに、選択肢の一つとして考えていることが見受けられました。

募集課は、今後もこのようなイベントを通じて、自衛隊に対する理解を深められる機会を設けるとともに、入隊適齢者等に仕事の一つとして認識してもらい、自衛隊の魅力を最大限に伝えて、受験・入隊につなげられるように活動していきます。